

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和3年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわ海岸美化財団							
設立年月日	平成3年4月1日	代表者名	代表理事 松浦 治美					
所在地	茅ヶ崎市汐見台1番7号	電話番号	0467-87-5379					
基本財産等	1,789,278,035	円	県出資額	1,400,000,000	円	県出資率	78.2	%

2 法人運営における現状の課題

- | |
|---|
| ① 自主財源（寄付金・会費収入、基本財産運用収入）の確保
② 海岸清掃事業負担金等の財源の確保
③ かながわプラごみゼロ宣言やSDGsの方向性に沿った海岸美化の普及啓発
④ 限られた予算の中での効率的な事業の運営 |
|---|

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
1	海岸美化充実・強化検討会議への参画	回	1 (2)	(2)				A
	(担当者会議)		1 (1)	(1)				
	(課長会議)		0 (1)	(1)				
	自己評価（目標未達の場合はその理由）		今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
担当者会議のみの书面開催となったが、海岸清掃の委託契約に関する厳しい状況について、書面により県及び各市町に情報提供することができたため、A評価とした。		会議の場において、必要な提案や情報提供を行い、県や市町に当財団の現状や課題について一層理解していただくよう努めていく。						
備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
2	環境出前授業「学校キャラバン」の実施	人	1,354 (うち新規 693) 3,070 (うち新規 200)	3,100 (うち新規 200)				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）		今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
	新型コロナウイルスの影響で中止になったものが17件、1,878人あり、全体の実績数は半減したが、新規の依頼が増加し、目標値の3倍以上の実績があったため、A評価とした。		新型コロナウイルスの状況が改善されれば、これまで実施していた学校からの依頼も増加すると思われるので、積極的に実施していく。					
備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
3	海岸の美化啓発のための講演等	回	5 (4)	(4)				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から、オンライン等で講演を行った。また、環境省の検討会に参画し、海岸清掃現場からの知見を提供した。このため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
4	海岸の美化啓発のためのワークショップ開催	回	0 (4)	(4)				C
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	ワークショップは、個別の説明や実習指導する場面が避けられず、密になりやすいこと、また接触の機会が多いことから、開催を中止した。				令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で開催を断念したが、状況が改善されれば開催できるように努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
5	海岸清掃ボランティアへの支援	人	38,298 (160,000)	(160,000)				B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルスの影響で大規模なビーチクリーンイベントや企業・団体のビーチクリーンが中止となったため、ボランティアの参加延べ人数が激減した。数値的には厳しいものがあるが、潜在的なボランティアの人数自体が減少したわけではなく、海岸の利用が制限されるなどで活動できないことによる参加人数の減であるため、B評価とした。				海岸ごみについては、社会的に関心が高く注目されていることから、海岸が通常にご利用できれば、ボランティアの清掃活動を再開していただければと思いますので、引き続きホームページ等による海岸清掃活動の情報提供やごみ袋の提供等の支援を行うことにより、参加人数の回復を目指す。			
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
6	美化団体交流会の開催	人	140 (160)	(160)				B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和元年度は新型コロナウイルスの影響により中止したが、令和2年度はZOOMを利用したオンラインで開催し、講演や活動発表を行うことができた。				新型コロナウイルスの状況を見て、開催方法等を検討し、多くの参加者を集められるように努めていく。			
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価
1	海岸清掃事業費負担金収入	千円	241,512					A
			(243,588)	(243,588)				
	(通常清掃費)		222,210					
		(223,563)	(223,563)					
	(緊急清掃費)	19,301						
	(20,025)	(20,025)						
自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
令和2年度は、降水量が少なかったため、収入額は目標を下回ったが、効率的に海岸清掃を実施し、海岸美化を保つことができた。このため、A評価とした。					台風や荒天等の状況により、必要な海岸清掃を効果的に実施していく。			
備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価	
2	基本財産の運用収入	千円	39,890					A	
			(40,000)	(40,000)					
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	基本財産の運用はほとんど国債に拠っており、満期になるまでは運用収入の額はほとんど変動しない。したがって、概ね現状維持の収入額であるがA評価とした。					若干ではあるが定期預金でも運用しているため、少しでも有利な運用先があれば確保に努めていく。			
備考									

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価	
3	会員の会費収入	千円	7,104					A	
			(4,200)	(4,400)					
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	代表理事自ら企業、団体を訪問するほか、ホームページのリニューアルにより会員加入の働きかけを行った結果、会員数及び会費収入を大幅に増やすことができたため、A評価とした。								
備考									

No.	項目	単位	2年度	3年度				2年度自己評価	
4	常勤職員数	人	8					A	
			(8)	(8)					
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団の業務運営に必要な最低限の職員数であり、美化啓発などで業務も増えているなかで、既存の人員体制で業務を維持することができたため、A評価とした。								
備考									

4 取組実績等についての総括（法人）

当財団は、平成29年度に策定した第五次経営改善計画に基づき、一層効率的な財団運営を目指して取り組んでいる。

海岸清掃事業については、人手不足、労務費の上昇により委託業者の確保が切実な課題となっているが、令和2年度は負担金予算の労務費について一定の改善を図ったことから、委託業者を確保することができた。コロナ禍においても、適切な感染予防対策を講じつつ、清掃事業を止めることなく着実に実施した。

自主財源の確保については、積極的な事業PRと会員加入の働きかけにより、会費収入を大幅に増加することができた。

美化啓発事業については、新型コロナウイルスの影響により、美化キャンペーンの中止や学校キャラバンの実施減となってしまったが、やむを得ないものと考えている。

美化団体支援事業についても、新型コロナウイルスの影響により、海岸清掃ボランティアの参加人数が大幅に減少してしまったが、交流会をオンラインで実施するなど、厳しい状況の中で団体やボランティアに対する支援に努めた。

5 取組実績等についての総括（所管課）

海岸清掃事業については、定期的に海岸パトロールを行ってごみの散乱状況等を把握し、年間を通して計画的に通常清掃を実施することができた。海岸ごみの発生状況は天候等により大きく変動するものであるが、荒天等の状況により通常清掃で処理が追い付かないときは、財団直営または委託業者との連携により、適宜的確に緊急清掃を実施した。また、海岸清掃業務の入札不調や、業務から撤退する事業者もある中、業者の確保に奔走し、委託清掃が欠落した工区が出るという事態を回避することができた。

自主財源の確保については、企業・団体訪問のほか、SNSの活用やホームページのリニューアルといった多様な方法による情報発信により、企業・団体、個人ともに会員数が大幅に増加し、これに伴い、会費収入も増加した。

美化啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、美化キャンペーンが中止となった。一方で、学校キャラバンの新規人数が増加したほか、オンラインによる講演等、可能な範囲で積極的に事業実施に努めた。

美化団体支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、海岸の利用が制限されたことで海岸清掃ボランティアの参加者数が減少した。一方で、令和元年度は中止となった美化団体交流会をオンラインで開催し、参加者との交流を深めることができた。新型コロナウイルス感染症の状況改善後は海岸清掃ボランティア参加者数の持ち直しに期待したい。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からイベントの中止または規模縮小等の制限が余儀なくされる中、事業内容や開催方法等に工夫を凝らしながら取り組んでいる。今後も引き続き、財源の確保等、経営基盤の強化に努め、経営改善目標の達成に向け指導していく。